

## 四 大学の国際競争力の向上

### (一) 大学院の充実と改革

大学院改革については、これまで制度の整備や量的な充実などに重点が置かれてきたが、我が国が今後とも国際社会のリーダーの一員となり、持続的な発展を続けていくためには、大学院教育の抜本的な充実を図り、国際的にも魅力のある大学院教育の構築を図っていく必要がある。

この観点から平成一七年九月五日に中央教育審議会において、答申「新時代の大学院教育―国際的に魅力ある大学院教育の構築に向けて―」がなされた。

文部科学省では、この答申を踏まえ、平成一八年三月三十一日に大学院設置基準を改正（平成一九年四月一日施行）し、各大学が人材養成目的を明らかにすることや、ファカルティ・ディベロップメントの実施、成績評価基準を明示することなどを求めている。

また、本答申や平成一八年三月二十八日に閣議決定した「科学技術基本計画」を踏まえ、平成一八年三月三〇日に「大学院教育振興施策要綱」を策定した。この要綱では、

①大学院教育の実質化、②国際的な通用性・信頼性の確保、③国際競争力のある卓越した教育研究拠点の形成に向けて、五年間で取り組むべき重点施策を明示している。

平成二〇年度予算案においては、これらを踏まえ、大学院における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援する「大学院教育改革支援プログラム」や、国際的に卓越した教育研究拠点形成をより重点的に支援する「グローバルCOEプログラム」を計上している。

### (二) 専門職大学院制度

専門職大学院は、科学技術の進展や社会・経済のグローバル化に伴う、社会的・国際的に活躍できる高度専門職業

人養成へのニーズの高まりに対応するため、高度専門職業人の養成に目的を特化した課程として、平成一五年度に創設された。特徴としては、理論と実務を架橋した教育を行うことを基本としつつ、①少人数教育、双方向的・多方向的な授業、事例研究、現地調査などの実践的な教育方法をとること、②研究指導や論文審査は必須としないこと、③実務家教員を一定割合置くことなどを制度上定めている。

制度創設時から法曹（法科大学院）、会計、ビジネス・MOT（技術経営）、公共政策等の様々な分野で開設が進み、今後、国際的に通用する高度で専門的な知識・能力を必要とされる分野での専門職大学院の創設・拡充が期待されている。このうち法科大学院は制度創設から四年が経過し、平成一九年度には、法科大学院の第一期生が法曹として誕生した。今後は、法学教育、司法試験、司法修習を有機的に連携させた「プロセス」としての新たな法曹養成制度の中核的機関としての役割や真価が問われることになってくる。また、近年の社会構造の急激な変化や学校教育が抱える課題の複雑・多様化に伴い、より高度な専門性と豊かな人間性・社会性を備えた力量ある教員が求められていることから、専門職大学院の一類型として教職大学院制度を新たに創設した（平成二〇年度から開設）。

専門職大学院が、社会からの高い評価を得て、将来に向けて発展を遂げていくためには、各大学が関係する業界や職能団体等との連携を図りながら、制度の趣旨を踏まえ、理論と実務を架橋した実践的な教育の充実に不断の努力をしていくことが求められよう。

### （三）卓越した教育研究拠点の形成

文部科学省においては、平成一四年度から、世界的な教育研究拠点の形成を重点的に支援し、もって国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを目指す「二十一世紀COEプログラム」を実施し、大学改革の推進、優れた若手研究者の育成、新たな学問分野の開拓や研究水準の向上等を図ってきたが、知識基盤社会、グローバル化の進展の中で、国際的に第一級の実績を持つ研究者の育成は益々重要性を増しており、「新時代の大学院教育」（平成一七年九

月中央教育審議会答申）や「科学技術基本計画」（平成一八年三月閣議決定）においても、より充実・発展させた形でポスト「二十一世紀COEプログラム」を実現することが必要であるとされている。

これらを踏まえ、全ての学問分野を対象として、特に、産業界も含めた社会のあらゆる分野で国際的に活躍できる若手研究者の育成機能の抜本的強化と国際的に卓越した教育研究拠点の形成を図るため、平成一九年度から「グローバルCOEプログラム」を実施している。

### （四）国公立大学を通じた大学教育改革の支援

二十一世紀を担う人材養成のための大学教育改革を促進していくことは、極めて重要な課題である。

このため、国公立大学を通じた競争的環境の下での大学教育改革への取組を支援し、各大学等の個性・特色を生かした優れた教育研究活動の取組を促進し、高等教育の活性化を図ることが必要である。これらを踏まえ、「国公立大学を通じた大学教育改革の充実」等の以下のプログラムの実施に必要な経費として、六八〇億円を平成二〇年度予算に計上している。

#### 1 国公立大学を通じた大学教育改革の充実

##### （一）質の高い大学教育推進プログラム

平成二〇年度から実施する「質の高い大学教育推進プログラム」は、従来の「特色ある大学教育支援プログラム」（特色GP）及び「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」（現代GP）を発展的に統合し、大学・短期大学・高等専門学校が、設置基準改正等へ積極的に対応しつつ、それぞれの人材養成目的に沿った確実な計画のもとに教育の質向上を図ろうとする取組の中から、特に優れた取組を選定・支援するとともに、広く社会に情報提供を行うこととしている。

平成二〇年度予算においては、これまでに特色GP及び現代GPに選定された取組への継続支援とともに、本プログラムの新規公募の実施に必要な経費として八六億円を計上している。

##### （二）社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

平成一九年度から実施している「社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム」は、社会人の「学び直し」ニーズに対応するため、社会人の再就職やキャリアアップ等に資する優れた実践的教育や、就職困難者を対象とした職業能力形成に資する教育への取組に対して支援を行うことに

より、再チャレンジを可能とする柔軟で多様な社会の実現に向けた高等教育機会の充実を図るものである。本プログラムでは、大学・短期大学・高等専門学校の研究資源を活用した、社会人を対象とする関係団体と連携した再チャレンジに役立つ教育プログラムの開発・実施などの実践的教育への取組の中から優れた取組を選定・支援している。平成二〇年度予算においては、これまでに選定した取組への継続支援を行うとともに、新規公募の実施に必要な経費として二〇億円を計上している。

### (3) 新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム

平成一九年度から実施している「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」は、学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を支援することにより、大学等の学生支援機能の充実を図るものである。

本プログラムでは、大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムの中から優れたプログラムを選定、支援している。

平成二〇年度予算においては、これまでに選定した取組

への継続支援を行うとともに、新規公募の実施に必要な経費として一六億円を計上している。

### (4) 大学教育の国際化加速プログラム

平成二〇年度から実施する「大学教育の国際化加速プログラム」は、従来の「大学教育の国際化推進プログラム」を拡充し、我が国の高等教育の国際競争力の強化、国際的認知度の向上、国際的に活躍できる優秀な人材の育成を図るため、大学等が行う教職員や学生の海外派遣の取組や海外の大学との積極的な連携等を図る取組のうち、特に優れた取組を選定し支援するものである。

具体的には、

○「長期海外留学支援」：日本人の学生等を海外の大学院等に派遣し、学位取得や専門分野の研究をさせることに  
より、優秀な人材の養成を支援

○「海外先進教育実践支援」：海外の先進的な教育実践等を基に教育内容・方法等の改善に資する取組や教職員の教育研究能力等の向上により教育研究の国際化及び高度な人材育成に資する取組について支援

○「国際共同・連携支援」：各大学の国際化戦略に基づいて、ダブル・ディグリーや単位互換等の相互連携、英語による授業などを総合的・体系的に行う取組等を支援

することとしている。

平成二〇年度予算においては、これらの支援に必要な経費として二〇億円を計上している。

### (5) 専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム

平成二〇年度から実施する「専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム」は、我が国の高度専門職業人養成機能の向上を図るため、専門職大学院等における、産業界、学協会、職能団体及び自治体等との連携に基づいた教育方法等の充実に資する先導的な取組を支援することとしている。

平成二〇年度予算においては、平成一九年度に「専門職大学院等教育推進プログラム」に選定された取組への継続支援とともに、本プログラムの新規公募の実施に必要な経費として一四億円を計上している。

## 2 世界最高水準の卓越した教育研究拠点形成と大学院教育の抜本的強化

### (1) グローバルCOEプログラム

「二一世紀COEプログラム」により、大学改革の推進、優れた若手研究者の育成、新たな学問分野の開拓や研究水

準の向上などが図られてきたが、知識基盤社会、グローバル化の進展の中で、国際的に第一級の力量を持つ研究者の育成は益々重要性を増しており、平成一七年九月の中央教育審議会答申「新時代の大学院教育」や平成一八年三月に閣議決定された「科学技術基本計画」においても、より充実・発展させた形でポスト「二一世紀COEプログラム」を実現することが必要であるとされている。これらを踏まえ、全ての学問分野を対象として、特に若手研究者の育成機能の抜本的強化と国際的に卓越した教育研究拠点の形成を図るため、平成一九年度から、「グローバルCOEプログラム」を実施している。本プログラムでは、五年間で一五〇拠点程度を採択することを予定している。

平成二〇年度においては、平成一九年度採択拠点への継続支援を行うとともに、新規に医療系、数学・物理学・地球科学、機械・土木・建築・その他工学、社会科学、学際・複合・新領域について公募を行うこととしており、平成二〇年度予算に三四〇億円を計上している。

### (2) 大学院教育改革支援プログラム

平成一九年度から実施している「大学院教育改革支援プログラム」は、大学院教育を抜本的に強化し、研究者のみならず、産業界をはじめ社会の様々な分野で幅広く活躍す

る高度な人材を養成するため、大学院（博士課程、修士課程）における優れた組織的・体系的な教育の取組を支援し、大学院教育の実質化を図るものである。

平成二〇年度は、平成一九年度採択取組への継続支援を行うとともに、新規に全学問分野を対象に、「人社会」「理工農系」「医療系」の三分野を設定して公募を行う予定であり、平成二〇年度予算に五一億円を計上している。

### （3）二一世紀COEプログラム

平成一四年度から実施している「二一世紀COEプログラム」は、第三者評価に基づく競争原理の導入により、世界的な研究教育拠点の形成を重点的に支援し、もって国際競争力のある世界最高水準の大学づくりを推進するものである。

本プログラムでは、主として研究上のポテンシャルの高い大学の研究教育拠点に対し、高度な人材育成機能も加味し、原則五年間、継続的に重点支援を行うもので、各大学の個性や特色に応じ、世界的な拠点形成を目指すとともに、各大学が全学的視野に立って戦略的な研究教育体制の構築に取り進むなど、大学全体の活性化につながることも期待されている。

平成二〇年度は、平成一六年度採択拠点への継続支援、

平成一五年度採択拠点の事後評価を行うこととし、平成二〇年度予算にその実施に必要な経費として三九億円を計上している。

### 3 地域の教育研究資源の集結による知の拠点としての機能強化

#### ○戦略的大学連携支援事業

平成二〇年度から実施する「戦略的大学連携支援事業」は、地域の教育研究資源の集結による知の拠点としての機能を強化するため、各大学・短期大学・高等専門学校の研究資源を活用した、大学間の連携強化による個性・特色ある取組を支援し、地方の大学教育の一層の充実を図るものである。

本事業では、大学連携による共通・専門教育の先進的なプログラム開発など、国公私の複数の大学による多様で特色ある大学間の戦略的な連携の取組を選定、支援することとしている。

平成二〇年度予算においては、本事業の実施に必要な経費として三〇億円を計上している。

### 4 大学・大病院が連携した医師等の養成システムの推進

#### （1）大病院連携型高度医療人養成推進事業

平成二〇年度から実施する「大病院連携型高度医療人養成推進事業」は、大病院が若手医師にとって魅力ある場として活性化するため、複数の大病院が緊密に連携・協力して、それぞれの得意分野の相互補完を図り、循環しながら質の高い専門医や臨床研究者を養成する取組を支援することとしている。

平成二〇年度予算においては、本事業の実施に必要な経費として一五億円を計上している。

#### （2）がんプロフェッショナル養成プラン

平成一九年度から実施している「がんプロフェッショナル養成プラン」は、がん医療の担い手となる高度な知識・技術を持つがん専門医師等、がんを横断的・集学的に診療できる医療人の養成や、各種医療人が参画したチームとして機能する体制の構築を推進し、がん医療の高度化を図るものである。

本プログラムでは、国公立大学における新たながん治療体制の構築に向けた医療現場で直接役立つ人材養成に視点を置き、体系的な教育課程の編成と適切な教育・指導の

実現を目指す優れた取組を選定し、重点的に支援している。平成二〇年度予算においては、平成一九年度に選定した取組への継続支援の実施に必要な経費として一九億円を計上している。

#### （3）社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム

平成一七年度から実施している「社会的ニーズに対応した質の高い医療人養成推進プログラム」は、地域医療等、社会のニーズに適切に対応できる質の高い医療人の養成を目指す大学の優れた取組を選定、支援し、大学教育の活性化を図るものである。

本プログラムでは、これまでに分野別偏在に対応した医師養成や臨床能力向上に向けた薬剤師養成の取組、女性医師・看護師の臨床現場定着及び復帰支援や臨床研究・研究支援人材の養成の取組について支援を行っている。

平成二〇年度予算においては、これまでに選定した取組への継続支援の実施に必要な経費として九億円を計上している。

5 産学連携による高度人材育成と教育プログラムの充実・強化

(1) 産学連携による実践型人材育成事業

平成二〇年度から実施する「産学連携による実践型人材育成事業」は、多様な社会の要請に対応できる人材、新たな産業を創出する創造性豊かな人材を育成するために、大学・短期大学・高等専門学校において、産学連携による実践的な環境下での教育プログラムの開発を通じ、実践型人材の育成を図るものである。

本事業では、これまで実施してきた「長期インターンシップ・プログラム開発」及び「ものづくり技術者育成」、「サービス・イノベーション人材育成」を引き続き推進することとし、平成二〇年度予算においては、必要な経費として七億円を計上している。

(2) 先導的ＩＴスペシャリスト育成推進プログラム

平成一八年度から実施している「先導的ＩＴスペシャリスト育成推進プログラム」は、大学間及び産学の壁を乗り越えて潜在力を結集し、教育内容・体制を強化することにより、世界最高水準の高度ＩＴ人材として求められる専門のスキルを有し、企業等において先導的役割を担う人材の育成拠点の形成を支援するものである。

平成二〇年度は、これまでに選定された拠点への継続支援とともに、各拠点での教育プログラムの開発・実施を通じて得られた成果について、より効果的・効率的な普及・展開等を行うこととし、平成二〇年度予算においては、その実施に必要な経費として八億円を計上している。

国公立大学を通じた大学教育改革の支援の充実等

(平成19年度予算額 615億円)  
平成20年度予定額 680億円

我が国の大学改革に真に実効性のある分野への「選択と集中」により必要予算措置  
各大学が特色・個性を一層明確にし、社会の信頼に応える学部教育の実現や国際競争力を強化

世界最高水準の卓越した教育研究拠点形成と  
大学院教育の抜本的強化  
グローバルCOEプログラム(340億円)  
大学院教育改革支援プログラム(51億円)

大学の国際化と国家戦略としての留学生政策の推進  
大学教育の国際化加速プログラム(20億円)  
◇国際共同・連携支援(新規)  
◇長期海外留学支援、海外先進教育研究実践支援等

地域振興の核となる大学の構築  
戦略的産学連携支援事業(30億円)(新規)  
大学・大病院が連携した医師等の養成システムの推進  
大学病院連携型高度医療人養成推進事業(15億円)(新規)  
がんプロフェッショナル養成プログラム(19億円)

社会的ニーズに対応する人材養成と多様な機能の展開  
社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム(20億円)  
新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム(16億円)  
専門職大学院等における高度専門職業人養成教育推進プログラム(14億円)

産学連携による高度人材育成の充実  
産学連携による実践型人材育成事業(7億円)  
先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム(8億円)

人材養成目的の明確化を踏まえた高等教育の質の向上  
質の高い大学教育推進プログラム(86億円)(新規)

「経済財政改革の基本方針2007(19.6.19閣議決定)」  
大学・大学院改革については、「教育再生会議第二次報告」に基づき、重点的に取り組む。

①教育の質の保証 ②世界トップレベルを目指す大学院教育の改革 ③国際化・多様化を通じた大学改革  
④国公立大学の連携による地方の大学教育の充実 ⑤競争的資金の拡充と効率的な配分

一 中央教育審議会一  
◇学士課程教育の確立、高等教育の質の向上  
◇大学の機能別分化  
世界的研究・教育拠点、生涯学習機会の実現等

一 教育再生会議第二次報告一  
◇大学教育の質の保証  
◇世界トップレベルの教育水準を目指す大学院教育  
◇国公立大学の連携・地方の大学教育を充実

一 政府諮会議一  
成長力加速プログラム  
イノベーション25  
アジア・パートナーシップ構想